YAMAHA

J

CD-S700

CD プレーヤー

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
■保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告　この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意　この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なにおいや音がする。
- 異常に高温になる。
- 内部に水や異物が混入した。
- 煙が出る。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置


水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。
- **浴室・台所・海岸・水辺**
- **加湿器を過度にきかせた部屋**
- **雨や雪、水がかかるところ**

水の混入により、火災や感電の原因になります。


禁止

放熱のため本機を設置する際には:
- **布やテーブルクロスをかけない。**
- **じゅうたん・カーペットの上には設置しない。**
- **仰向けや横倒しには設置しない。**
- **通気性の悪い狭いところへは押し込まない。**

(本機の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意


禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。


手を挟まれないよう注意

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因になります。


必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。


禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。

接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ


必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

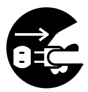
⚠ 注意

電源/電源コード


必ず実行

必ず付属の専用電源コードを使用する。

専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因になります。


プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。


ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。


禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。


必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。


禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池


必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯・保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



電源を入れる前や、再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



音が歪んだ状態で長時間使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



ディスクの挿入口には手を入れない。

本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。

ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光が目に当たると、視覚障害の原因になります。



業務用機器とは接続しない。

デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

手入れ



手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。



薬物厳禁

ベンジン・シンナー等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

目次

はじめに

接続

操作

付録

■ はじめに

- ヒントは知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は音楽 CD を「Audio CD」、MP3/WMA ディスクを「Data Disc」、USB デバイスに保存された MP3/WMA ファイルを「USB」と記載しています。
- 本書は製品の生産に先がけて印刷されたものです。製品改良などの理由で一部の仕様が本書の記述と異なる場合がございますのでご了承ください。

音を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

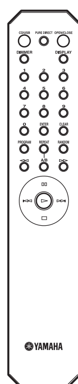
本機の特長

- ◆ デジタル（光／同軸）出力端子
- ◆ CD-R、CD-RW ディスクの再生
  （詳しくは、17 ページを参照してください。）
- ◆ MP3/WMA ディスクの再生
- ◆ USB デバイスに保存された MP3/WMA ファイルの再生
- ◆ プログラム演奏（Audio CD のみ）
- ◆ ランダム演奏
- ◆ リピート演奏（1 曲 / 全曲）
- ◆ A-B リピート（Audio CD のみ）
- ◆ ディスプレイの設定機能
  （表示内容 / 明るさ）
- ◆ ピュアダイレクトモード

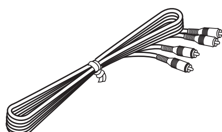
付属品の確認

ご使用の前に、付属品を確認してください。

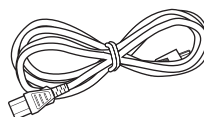
リモコン



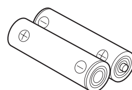
ステレオピンケーブル



電源コード

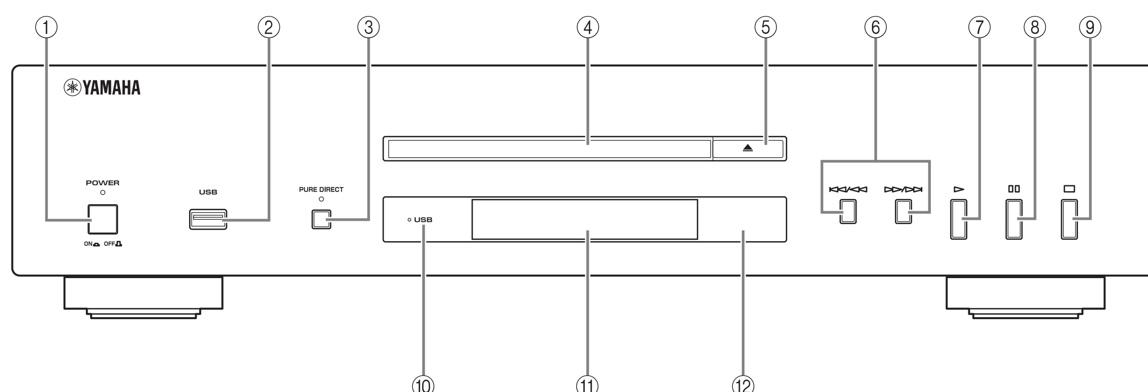


単 3 乾電池（2 本）



各部の名称とはたらき

フロントパネル



① POWER（パワー）

本機の主電源の ON (オン)/OFF (オフ) を切り替えます。



本機の電源がオンのとき、POWER オン インジケーターが点灯します。

② USB ポート

USB デバイスを接続します（☞ 8 ページ）。

③ PURE DIRECT（ピュア ダイレクト）スイッチ

PURE DIRECT スイッチをオンにすると、高音質な再生が楽しめます。



PURE DIRECT モードがオンのとき、PURE DIRECT インジケーターが点灯します（☞10 ページ）。

④ ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。

⑤ ⏏（ディスク開閉）

ディスクトレイを開閉するときに押します。

⑥ ⏮/◁◁（頭出し / 早戻し）
▷▷/⏭（頭出し / 早送り）

曲の頭出しをします。
▷▷/⏭：次の曲に頭出しします。
⏮/◁◁：現在再生中の曲の先頭に頭出しします。
⏮/◁◁(2 回)：前の曲に頭出しします。
⏮/◁◁または▷▷/⏭を長押しすると早戻しまたは早送りを開始します。



⏮/◁◁または▷▷/⏭を長押しするごとに、早戻し／早送りの速度が 2 段階で切り替わります。

⑦ ▷（再生）

再生を開始します。

⑧ ⏸（一時停止）

再生を一時停止します。
▷または⏸を押すと再生が始まります。

⑨ □（停止）

再生を止めます。

⑩ USB インジケーター

USB モードのときに点灯し、ディスクモードのときに、消灯します。USB デバイス読み込み中は点滅します。

⑪ ディスプレイ

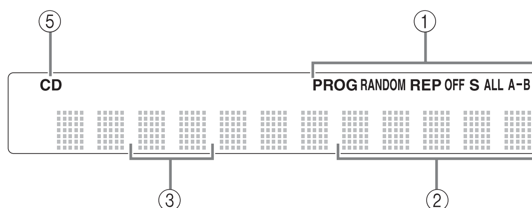
本機の現在の状態を示します。

⑫ リモコン受光部

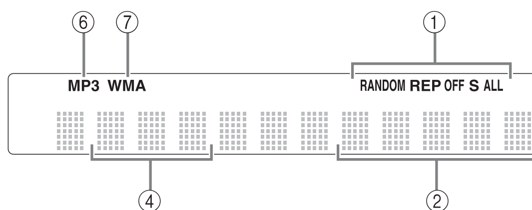
リモコンの信号を受信します。

ディスプレイ

Audio CD

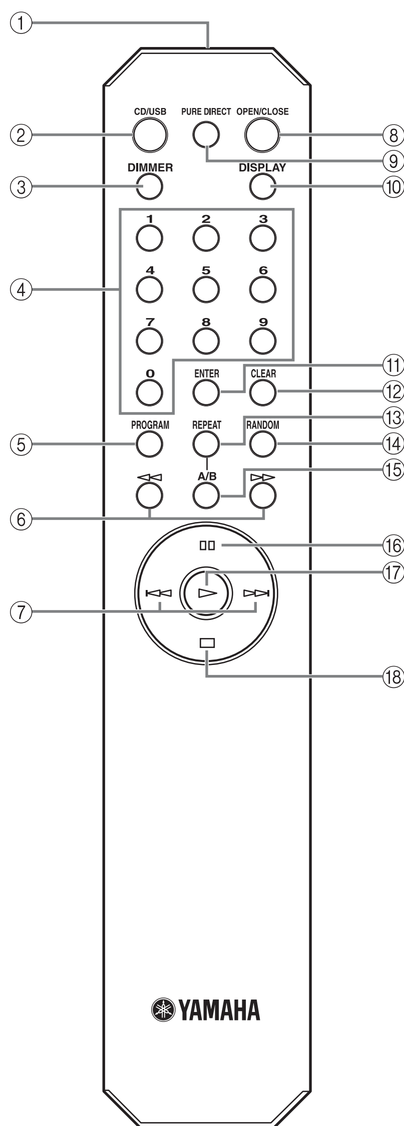


Data Disc　USB



① 演奏モードに応じて点灯します。
② 時間を表示します（☞ 12 ページ）。
③ 再生または選択されている曲番号を表示します。
④ ファイル番号を表示します。
⑤ ディスクモードが選択されて（☞ 9 ページ）、Audio CD がトレイにあると認識されると点灯します。
⑥ MP3ファイルを再生しているときに点灯します。
⑦ WMA ファイルを再生しているときに点灯します。

リモコン



① 赤外線送信部（☞ 6 ページ）
本体に向けて赤外線信号を送出します。

② CD/USB（☞ 9 ページ）
ディスクモードと USB モードを切り替えます。

③ DIMMER（ディマー）（☞ 12 ページ）
押すごとにディスプレイの明るさを切り替えます。

④ 数字キー（☞ 10 ページ）
曲番を直接指定します。

⑤ PROGRAM（プログラム）（☞ 15 ページ）
プログラムモードをオン／オフします。

⑥ ◁◁/▷▷ （早戻し／早送り）（☞ 11 ページ）
曲を早戻しまたは早送りします。

⑦ ⏮/⏭（頭出し）（☞ 11 ページ）
次の曲／前の曲に頭出しします。また、現在再生中の曲の先頭に頭出しします。

⑧ OPEN/CLOSE（オープン／クローズ）（☞ 9 ページ）
ディスクトレイを開閉します。

⑨ PURE DIRECT（ピュア ダイレクト）（☞ 10 ページ）
PURE DIRECT モードをオン／オフします。

⑩ DISPLAY（ディスプレイ）（☞ 12 ページ）
ディスプレイ表示内容を切り替えます。

⑪ ENTER（エンター）（☞ 15 ページ）
プログラム入力モード時に、曲番を確定します。

⑫ CLEAR（クリア）（☞ 16 ページ）
プログラムを削除します。

⑬ REPEAT（リピート）（☞ 13 ページ）
1 曲または全曲をリピート演奏します。

⑭ RANDOM（ランダム）（☞ 13 ページ）
ランダム演奏します。

⑮ A/B（☞ 14 ページ）
A-B リピートを設定します。

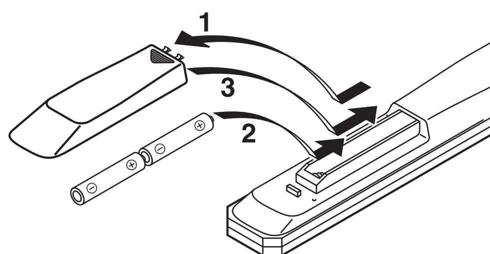
⑯ ▯▯（一時停止）（☞ 10 ページ）
再生を一時停止（ポーズ）します。

⑰ ▷（再生）（☞ 9 ページ）
再生をスタートします。

⑱ □（停止）（☞ 10 ページ）
再生を止めます。

はじめに

乾電池を入れる



1 バッテリーカバーの▽マークを押しながらスライドさせ、カバーをリモコンから取り外す。

2 電池ケース内に記載されている極性（＋／－）にしたがって、単 3 乾電池（2 本）を電池ケースに挿入する。

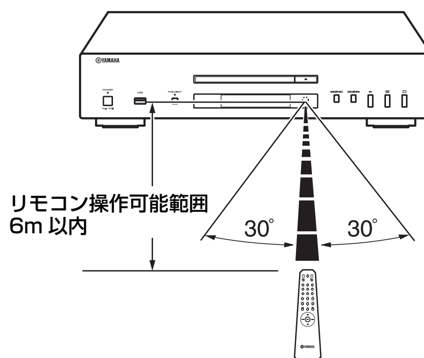
3 バッテリーカバーをリモコンに装着する。

■ 乾電池に関するご注意

- リモコンの操作可能範囲が極端に短くなってきたら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。
- 単 3 乾電池をご使用ください。
- 極性（+/ －）があっているかよくご確認ください。乾電池の向きを電池ケース内の表示にあわせてください。
- リモコンを長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り外してください。
- 新しい乾電池と、古い乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池には、形状や色が同じものでも種類が異なるもの（アルカリとマンガンなど）があります。表示をよく読んで、種類の異なる乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池が液漏れした場合は、液に触れないよう注意して廃棄してください。液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。
- 乾電池を一般のゴミといっしょに捨てないでください。地域のきまりに従って正しく処置してください。

リモコンの使いかた

リモコンは直進性の強い赤外線を使用しています。操作するときは本体のフロントパネルのリモコン受光部にまっすぐに向けてください。



■ リモコンの取り扱いについて

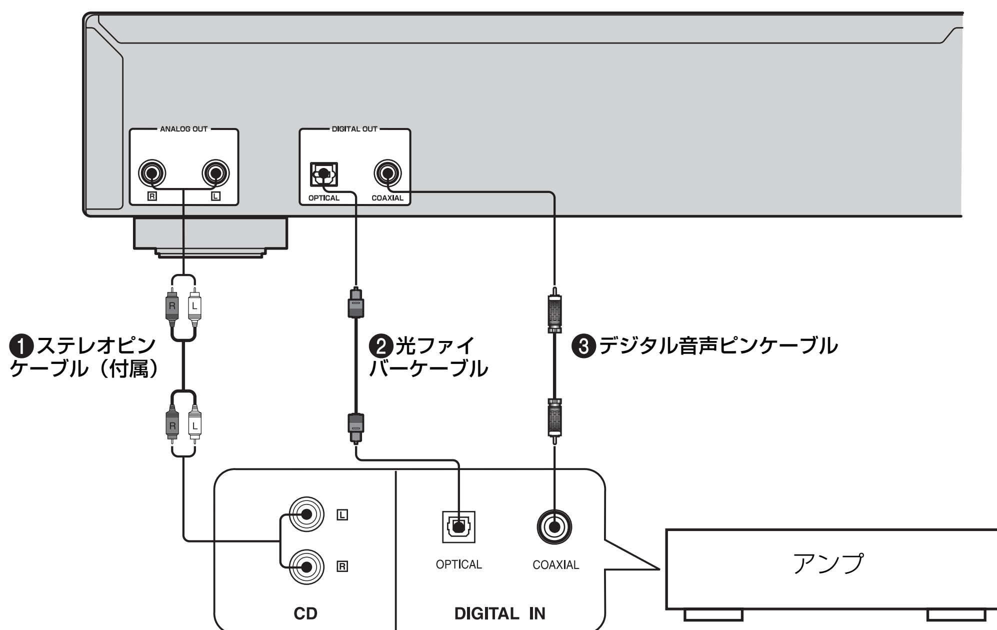
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコンに水などの液体をこぼさないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンを下記のような場所に放置したり保管したりしないでください。
  - 浴室などの湿気の多い場所
  - ヒーターやストーブの近くなどの高温になる場所
  - 温度が極端に低い場所
  - 埃の多い場所
- 本機のリモコン受光部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）が当たっていると、本機をリモコンで操作できないことがあります。このような場合は、照明の向きを変えるか、本機を置く場所を変えてください。

接続のしかた

アンプを接続する

重要

- 接続をはじめる前に、本機および接続する機器の電源コードが、コンセントに接続されていないことをご確認ください。
- 接続するアンプによっては端子名が異なるものがあります。接続するアンプの取扱説明書も参照してください。
- 本機の影響で他の機器からノイズが出る場合は、その機器と本機を離して設置してください。



· PURE DIRECT モードがオンの時は、デジタル出力端子（光 / 同軸）から音声信号が出力されません。

アンプを接続するときは、下記のいずれかの方法で接続してください。

アナログ出力端子に接続する場合（❶）

本機の ANALOG OUT 端子と、アンプの CD（アナログ）入力端子を付属のステレオピンケーブルを使って接続します。

- 右チャンネル（R）、左チャンネル（L）を正しく接続してください。

デジタル出力端子（OPTICAL）に接続する場合（❷）

本機の DIGITAL OUT OPTICAL（光出力）端子と、アンプの光入力端子を市販の光ファイバーケーブルを使って接続します。

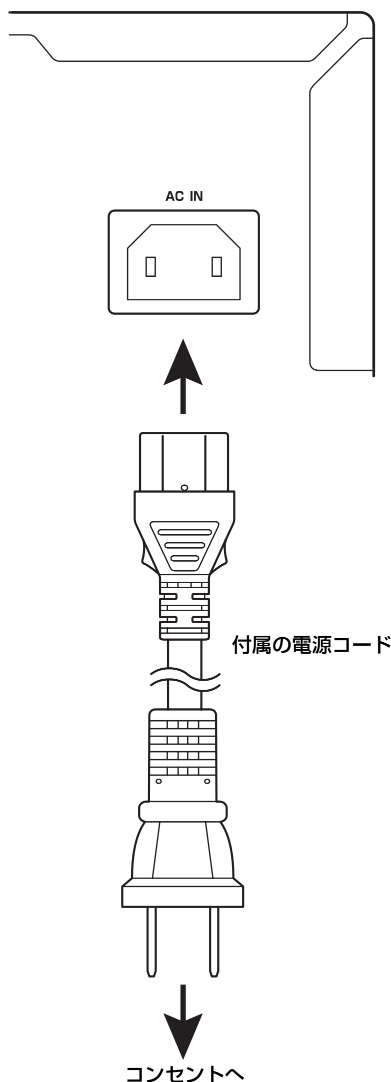
- 本機の DIGITAL OUT OPTICAL（光出力）端子は EIAJ 規格にもとづき設計されています。EIAJ 規格を満たさない光ケーブルを使用しますと、正常に動作しないことがあります。

デジタル出力端子（COAXIAL）に接続する場合（❸）

本機の DIGITAL OUT COAXIAL（同軸出力）端子と、アンプの同軸入力端子を、市販のデジタル音声ピンケーブルを使って接続します。

電源コードを接続する

すべての接続が終了したら、付属の電源コードを本機の AC IN 端子に差し込み、家庭用 AC100V、50/60Hz のコンセントに電源プラグを接続します。

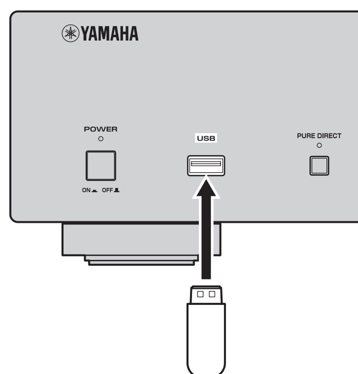


USB デバイスを接続する

USB デバイスに保存した MP3/WMA ファイルを再生するには、USB デバイスを本機の USB ポートに接続します。

重要

USB 再生中または USB インジケーターが点滅しているときは、USB デバイスを取り外さないでください。



■ 本機で使用できる USB デバイス

本機で USB デバイスに保存された音楽ファイルを再生する際は、以下のことをご確認ください。

- USB マスストレージクラスに対応したフラッシュメモリ、カードリーダー、ポータブルオーディオプレーヤーなどである。
- データが FAT16 または FAT32 ファイルシステムで記録されている。

ご注意

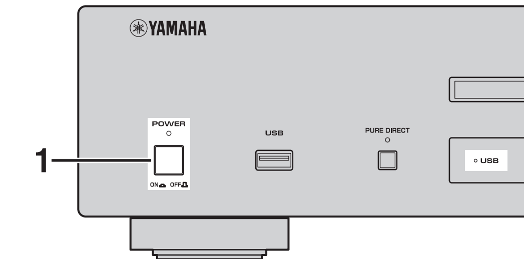
- お使いの USB デバイスによっては正常に作動しないことがあります。
- USB マスストレージクラス以外のデバイス（USB チャージャーや USB ハブ、PC、外付け HDD など）は本機に接続しないでください。
- USB ポートに接続されているカードリーダーに複数のメモリーカードを同時に挿入した場合、1 つのメモリーカードのみ認識されます。
- ヤマハ、および販売店では、本機に接続した USB デバイスに記録されているデータの消失に関して責任を負いかねます。データの消失に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。
- すべての USB デバイスに対して、動作および電源の供給を保障するものではありません。

本書はリモコンによる操作を中心に説明しています。

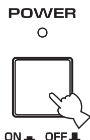
本体のフロントパネル上で操作する場合は対応するキーをご使用ください。

各操作で使用できる音楽データの形式を Audio CD（音楽 CD）、Data Disc（MP3/WMA ディスク）、USB（USB デバイス）とアイコンで表しています。

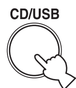
基本的な操作



1 POWER を押し、電源を入れます。



2 CD/USB を押し、ディスクモードと USB モードを切り替えます。



USB モードが選択されているときは、USB インジケーターは点灯しており、ディスクモードが選択されているときは、消灯しています。

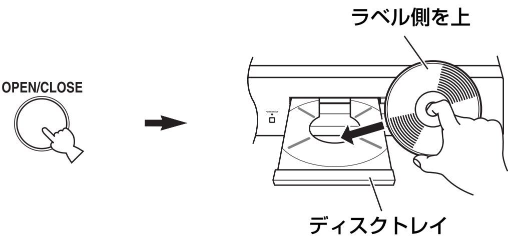
この設定は本機の電源をオフにしても解除されません。

再生を開始する

■ ディスクを再生する

Audio CD Data Disc

1 OPEN/CLOSE を押してディスクトレイを開け、ディスクをセットします。



ご注意

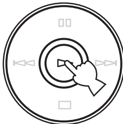
- トレイにある 4ヶ所のディスクガイドの段差の内側にディスクが納まるように置いてください。
- ディスクの位置がずれていると正しく読み込みができない場合があります。その場合にはトレイを開けてディスクを置き直してください。

2 OPEN/CLOSE を押し、ディスクトレイを閉じます。



▷、数字キーを押す、またはディスクトレイを手で押して閉じることもできます。その場合は、再生が自動的にはじまります。

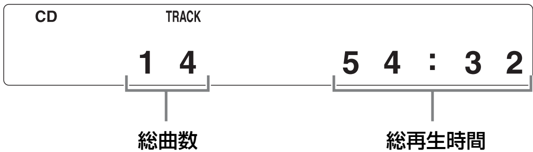
3 ▷ を押すと、再生がはじまります。



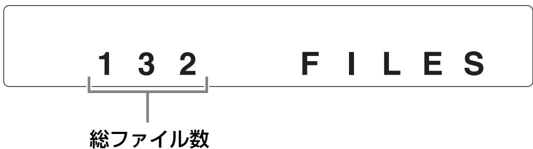
Audio CD は 1 曲目から再生し、Data Disc はファイル名のアルファベット順に再生します。

手順 2 の表示について

Audio CD



Data Disc



操作

■ USB デバイスを再生する

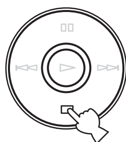
USB

USB デバイスを USB ポートに接続します（☞ 8 ページ）。

USB モードが選択されている (USB インジケーターが点灯している) 場合、デバイス内に再生可能なファイルがあれば 1 曲目のファイル名が表示され (☞ 12 ページ)、ファイルの作成日時順に自動的に再生がはじまります。

USB デバイスを取り外すには

□ を押して再生を停止してから、USB デバイスを取り外してください。



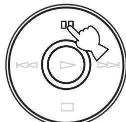
ご注意

USB 再生中または USB インジケーターが点滅しているときは、USB デバイスを取り外さないでください。

一時的に再生を止める

Audio CD | Data Disc | USB

II を押します。

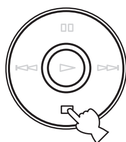


再び再生をはじめるには II（または ▷）を押します。

再生を停止する

Audio CD | Data Disc | USB

□ を押します。



再び ▷ を押すと、最初の曲から再生がはじまります。

本機の電源を切る

もう一度 POWER を押します。

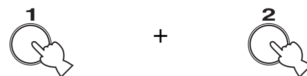
ディスクモードが選択された状態で電源を切ると、次に電源を入れたとき、ディスクトレイにディスクがセットされていれば自動的に再生がはじまります。USB モードが選択された状態で電源を切ると、USB デバイスが接続されていれば自動的に再生がはじまります。

好きな曲を聞く（ダイレクト選曲）

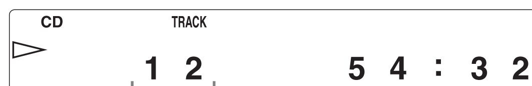
Audio CD

数字キーで曲番を指定します。

（例）指定したい曲番が、12 のとき：
「**1**」を押したあと、「**2**」を押します。



ディスプレイに次の情報が表示されます。



選択された曲番

2 秒後に指定した曲の再生がはじまります。

ご注意

Data Disc と USB ではこの機能をご使用できません。



再生中も曲番を指定して、好きな曲を聞くことができます。

高音質な再生を楽しむ（PURE DIRECT モード）

Audio CD | Data Disc | USB

PURE DIRECT を押します。



本機は PURE DIRECT モードにセットされます。

- PURE DIRECT インジケーターが点灯します。
- デジタル出力端子（光／同軸）から音声信号が出力されなくなります。
- 再生中はすべてのディスプレイが消灯しますが、操作によっては最小限のインジケーターやメッセージが表示されます。

ご注意

PURE DIRECT モードを使う時はアナログ接続をしてください（☞ 7 ページ）。

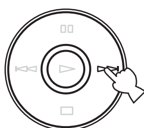


- 再度 **PURE DIRECT** を押すと PURE DIRECT モードがオフになります。
- この設定は本機の電源をオフにしても解除されません。

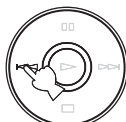
曲の頭出しをする

Audio CD | Data Disc | USB

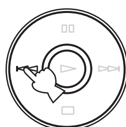
次の曲を聞くには、▷▷| を 1 回押す。



再生中の曲を最初から聞くには、|◁◁ を 1 回押す。



前の曲を聞くには、|◁◁ を 2 回押す。



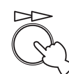


· Data Disc、USB でも同様の操作が可能です。
· 曲の頭出しは一時停止中もできます。
· 曲の頭出しはフロントパネルの |◁◁ / ◁◁ または ▷▷ / ▷▷| でも操作できます。

早送り、早戻しをする

Audio CD | Data Disc | USB

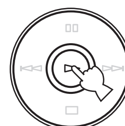
早送りをするには、再生中に ▷▷ を 1 回押す。



早戻しをするには、再生中に ◁◁ を 1 回押す。



再び再生をはじめるには、好きなところで ▷ を押す。





· Data Disc、USB でも同様の操作が可能です。
· 早送り、早戻しの操作中も音声が出力されるので（多少の歪みが生じます）、聞きたい場所を簡単に探したり、内容をすばやく確かめたりすることができます。MP3/WMA ファイルによっては、音声が出力されない場合があります。
· ◁◁ または ▷▷ を押すごとに、早戻し／早送りの速度が 2 段階で切り替わります。
· 早送り、早戻しはフロントパネルの |◁◁ / ◁◁ または ▷▷ / ▷▷| を 2 秒以上長押ししても操作できます。

ディスプレイの表示内容を切り替える

■　音楽 CD を再生しているとき

Audio CD

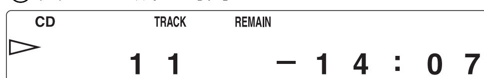
DISPLAY を押すごとに（① - ③）のように切り替わります。

① 曲ごとの再生経過時間（初期設定画面）



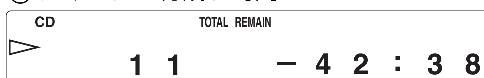


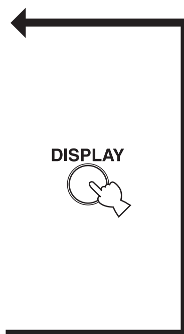
② 曲ごとの残り時間





③ ディスクの総残り時間





■　Data Disc または USB デバイスを再生しているとき

Data Disc　USB

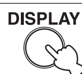
DISPLAY を押すと一時的にファイル名を表示させることができます。

MP3 ファイルの表示例です。

① 曲ごとの再生経過時間







② ファイル名 *



ファイル名表示後は自動的に通常の表示に戻ります。

*　最大 28 文字まで表示されます。

ご注意

英数字のみ表示することができます。

ディスプレイの明るさを設定する

ディスプレイの明るさを変えるには、DIMMER を押します。



DIMMER を押すごとにディスプレイの明るさが次の順番で切り替わります。

最大（最も明るい）→レベル 1（初期設定）→レベル 2 →レベル 3（最も暗い）→最大

ご注意

- 最大に設定したとき以外は再生中は照度が少し落ちます。
- 最大に設定したとき以外は、操作中一時的に照度が落ちる場合があります。
- この設定は本機の電源をオフにしても解除されません。

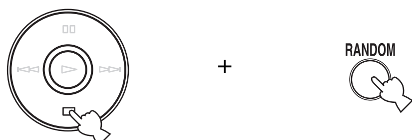
曲を順不同に聞く（ランダム演奏）

Audio CD | Data Disc | USB

順不同で曲を聞くことができます。

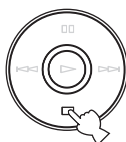
ランダム演奏を開始するには

□ を押してから、RANDOM を押します。



ランダム演奏の解除

□ を押します。



ご注意

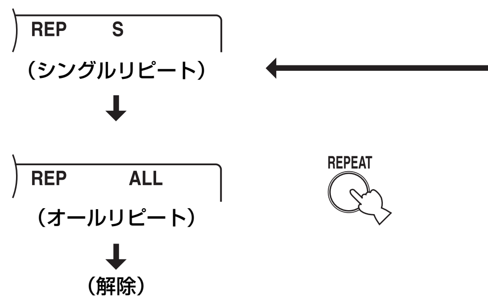
Data Disc、USB でも同様の操作が可能です。

繰り返し再生する（リピート演奏）

指定した項目をリピート

Audio CD | Data Disc | USB

1 曲または全曲を繰り返し再生します。再生中に REPEAT を押すごとにリピート演奏モードが切り替わります。



S（シングルリピート）

1 曲を繰り返し再生します。

ALL（オールリピート）

すべての曲を繰り返し再生します。

ご注意

Data Disc、USB でも同様の操作が可能です。



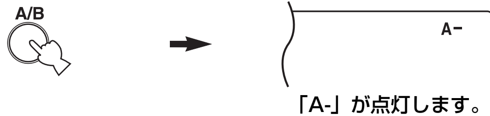
プログラム演奏中またはランダム演奏中もリピート演奏できます。

A-B リピート

Audio CD

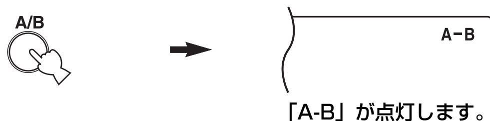
再生中に開始位置と終了位置を指定して、その部分を繰り返し再生することができます。

1 再生中、開始位置として指定する箇所で A/B を押します。



「A-」が点灯します。

2 終了位置として指定する箇所で A/B を押します。



「A-B」が点灯します。

A-B リピート演奏が始まります。

■ A-B リピート演奏をやめるには

もう一度 **A/B** を押して「A-B」を消灯させます。

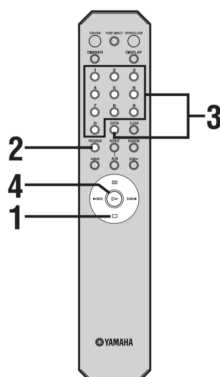
ご注意

- Data Disc と USB ではこの機能をご使用できません。
- 曲をまたいだ A-B リピートの設定はできません。
- **□** を押して再生を停止すると、A-B リピートは解除されます。
- PURE DIRECT モードがオンの時に、この機能はご使用できません。

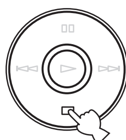
好きな順序で聞く（プログラム演奏）

Audio CD

50 曲までプログラムできます。Data Disc と USB ではこの機能をご使用できません。



1 □ を押して停止状態にします。



2 PROGRAM を押します。





CD PROG
P 0 0 0 0 0 : 0 0

・PURE DIRECT モード時もプログラム入力モード中は通常表示されます。

本機はプログラム入力モードにセットされます。

3 プログラムする曲を数字キーで選び、ENTER を押します。



＋


ディスプレイに次の情報が表示されます。

「6」を押したときの表示

CD TRACK PROG
_ 6 0 0 0 : 0 0

選択された曲番

「ENTER」を押したときの表示

CD PROG
P 0 1 0 0 1 : 3 3

プログラムした合計曲数

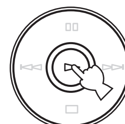
今までプログラムした曲の合計再生時間

この手順を繰り返して好きな曲をプログラムしてください。同じ曲を 2 度以上プログラムすることもできます。

ご注意

プログラム入力モードがオンのときに PROGRAM を押すと、プログラム入力モードから抜けて、通常の再生モードに戻りますが、プログラムされた曲は記憶されます。

4 ▷ を押すと、プログラム演奏がはじまります。



ディスプレイに次の情報が表示されます。

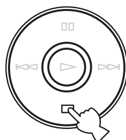
CD TRACK PROG
▷ 6 0 : 0 2

再生されている曲番

現在の曲の経過時間

プログラム演奏をやめるには

□ を押します。



プログラム演奏を再度はじめるためには、
PROGRAM を押した後、▷ を押します。
プログラムの最初から再生がはじまります。

プログラムを削除するには

以下のような方法があります。

■ 最後にプログラムした曲のみ削除

プログラム入力モード中に CLEAR を押します。



ディスプレイに次の情報が表示されます。

CD	PROG
P 0 5	0 1 8 : 5 4
プログラムした合計曲数	今までプログラムした曲の合計再生時間

最後にプログラムした曲が削除されます。

■ プログラムを一括削除

プログラム入力モードから抜けた状態で、
CLEAR を押します。



ディスプレイに次の情報が表示されます。

CD
P G M C L E A R

プログラムした曲が全て削除されます。
この表示は 2 秒後に消灯します。

ご注意

ディスクトレイを開けたり、電源を切ったり、USB モードに切り替えたりすると、全てのプログラムが削除されます。

ディスク /MP3、WMA ファイルについて

■ 本機で再生できるディスク

Audio CD　Data Disc

本機は、コンパクトディスクが再生できます。
本機で再生する場合、下記のマークが付いたディスクを必ずご使用ください。
また、8 センチ CD も再生できます。



…. **コンパクトディスク（オーディオ CD）**
市販の音楽 CD として最もポピュラーなディスクです。









…. **CD-R, CD-RW ディスク**
ご自分で書き込んだ CD-R や CD-RW を音楽 CD として再生できます。MP3 または WMA 形式の音声も再生できます。

ご注意

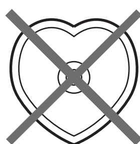
- 信頼できるメーカーのディスクを必ずご使用ください。
- ディスクやケースに下記のいずれかの表示のあるディスクをご使用ください
  FOR CONSUMER
  FOR CONSUMER USE
  FOR MUSIC USE ONLY
- CD-R または CD-RW はファイナライズされたディスクのみ再生できます。



…. **CD-TEXT ディスク**
アルバム名、曲名、アーティスト名などの文字情報が記録されたディスクです。音楽再生は可能ですが、文字情報は表示されません。

ご注意

- 上記以外のディスク (変形ディスクも含みます。) はご使用にならないでください。
  上記以外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく再生できないばかりでなく、ディスクの破損や本機の故障の原因となる場合があります。



- テープやシールを貼ったディスクは使用しないでください。ディスクトレイの開閉不良や本機の故障の原因となる場合があります。
- 一部の CD-RW ディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。

■ MP3 および WMA ファイルについて

Data Disc　USB

本機では CD-R、CD-RW、USB デバイスに収録した MP3、WMA ファイルを再生することができます。

MP3

MPEG-1 Audio Layer-3 の略で、音声データを圧縮するフォーマットの一つです。音楽 CD と同じレベルの音質を維持してデータ容量を圧縮することができます。再生可能なフォーマットは次の通りです。

- MPEG-1 Audio Layer-3
  ビットレート *：32-320kbps
  サンプリング周波数：44.1/48/32kHz
- MPEG-2 Audio Layer-3, 2
  ビットレート *：8-160kbps
  サンプリング周波数：24/22.05/16kHz
- MPEG-2.5 Audio Layer-2
  ビットレート *：8-160kbps
  サンプリング周波数：12/11.025/8kHz

* 可変ビットレートに対応しています。

WMA

Windows Media Audio の略で、MP3 と同様に音声データを圧縮するフォーマットの一つです。
MP3 よりも高い圧縮率で、データ容量を圧縮することができます。
再生可能なフォーマットは次の通りです。

- バージョン：8
- バージョン：9（標準 / 可変ビットレート対応、Professional and Lossless 非対応）
- High Profile
  ビットレート *：32-320kbps
  サンプリング周波数：48/44.1/32kHz
- Mid Profile
  ビットレート：16-32kbps
  サンプリング周波数：22.05/16kHz

* 固定ビットレートおよび可変ビットレートに対応しています。

ご注意

- Data Disc はファイルをアルファベット順に再生します。
- USB デバイスはファイルの作成日時順に再生します。
- 本機では、著作権保護された WMA（DRM）ファイルは再生できません。
- 本機は ISO9660 フォーマットのディスクに対応しています。

付録

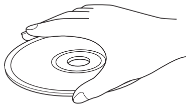
（次ページに続く）

・再生可能なファイル数およびフォルダ数の上限は次の通りです。

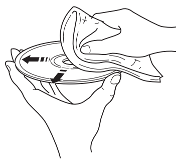
	Data Disc	USB
最大ファイル数	512	999
最大フォルダー数	255	255
1 フォルダー内の最大ファイル数	511	255

■ 取り扱いの注意

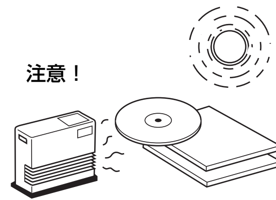
・ できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



・ ディスクにセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
・ レーベル面に紙など（レーベル面用のシールも含みます。）を貼ったり、ボールペン等、先の固いもので文字を書いたりしないでください。
・ 折り曲げたり、強い衝撃を与えたりしないよう注意して扱ってください。
・ 再生が終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。
・ 信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
・ 記録面に指紋やほこりがついたときは、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。
ほこりや汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。



・ レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。
・ 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くと、ディスクが変形したりして使用できなくなる原因となりますので、絶対に置かないでください。



8 センチ CD を再生するには

ディスクトレイの内側のくぼみに 8 センチ CD をセットしてください。また、8 センチ CD の上に 12 センチ CD を重ねて置かないでください。

> **お知らせ**
>
> 使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。誤動作の原因になるため市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点まで、お問い合わせください。

症状	原因	対策	参照ページ
電源スイッチを操作しても電源が入らない	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードをコンセントに差し込み直してください。	8
ディスクトレイが完全に閉まらない	ディスクトレイに異物が入っている。	ディスクトレイを確認し異物を取り除いてください。	—
ディスクを入れても再生できない	ディスクに傷がある。	ディスクを交換してください。	—
	本機内部のレンズが結露している。	本機をオンにして 20 ～ 30 分待ってから再度ディスクを再生してください。	—
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。	9
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。	18
	本機が対応していないフォーマットの MP3 または WMA ファイルを再生しようとしている。	本機が対応しているフォーマットで記録されたディスクと交換してください。	17
	正しく録音されていない CD-RW ディスクを使用している。	正しく録音され、本機に対応したディスクを使用してください。	17
	本機が対応していない規格外のディスクを使用している。	正しく録音され、本機に対応したディスクを使用してください。	17
	本機が USB モードになっている。	**CD/USB** を押して、ディスクモードにしてください。	5、9
USB デバイスの再生ができない	USB デバイスが正しく接続されていない。	USB デバイスを接続しなおしてください。	8
	本機が対応していないフォーマットの MP3 または WMA ファイルを再生しようとしている。	正しく録音され、本機に対応したファイルを使用してください。	17
	本機がディスクモードになっている。	**CD/USB** を押して、USB モードにしてください。	5、9
再生が遅れて始まったり、正しくない位置から始まる	ディスクに汚れや傷がある。	ディスクをクリーニングするか、傷のないディスクに交換してください。	18
音が出ない	出力ケーブルの接続が正しく接続されていない。	出力ケーブルの接続を確認してください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	7
	アンプの操作が間違っている。	アンプの入力を確認してください。	—
デジタル端子に接続した機器から音声が再生されない	PURE DIRECT がオンになっている。	PURE DIRECT をオフにしてください。	10
音飛びをする	本機が振動や衝撃を受けている。	設置場所を変えてください。	—
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。	18
ブーンというハム音が入る	ステレオピンケーブルがしっかり接続されていない。	ステレオピンケーブルをしっかり差し込んでください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	7
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い。	チューナーから遠ざけるか、または本機の電源を切ってください。	—

症状	原因	対策	参照ページ
ディスクトレイから雑音がする	ディスクが変形している。	変形のないディスクに交換してください。	—
リモコンでは操作できない	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	6
	操作する位置が本体から遠すぎるか、または角度が正しくない。	リモコンは本体から 6m 以内で、また本体正面より左右それぞれ 30°以内の角度で操作してください。	6
	受光部に強い日光や照明（インバーター蛍光灯など）が当たっている。	受光部に強い光が当たらないように本機の置き場所や方向、または照明の位置を変えてください。	—

主な仕様

周波数特性

- 周波数特性 .... 2 Hz ～ 20 kHz, ± 0.5 dB
- 高調波歪率 （1 kHz）..0.002% 以下
- S ／ N 比（EIAJ）... 110 dB 以上
- ダイナミックレンジ.. 100 dB 以上
- 出力電圧 （1 kHz, 0 dB）................................. 2.0 ± 0.3 V

レーザー部

- レーザータイプ..GaAlAs
- 波長 .... 790 nm
- レーザー出力...最大 1.23 μW

総合

- 電源... 100V, 50/60 Hz
- 消費電力 .... 10 W
- 外形寸法（W × H × D）.................. 435 x 96 x 300 mm
- 質量...6.2 kg

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更をすることがあります。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。JIS C61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性第 3-2 部：限度値一高調派電流発生限度値（1 相当あたりの入力電流が 20A 以下の機器」に基づき、商用電力系統の高調派環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

http://www.yamaha.co.jp/audio/

■ AVお客様ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通）  0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル（全国共通）  0570-01-2808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-4830

FAX（053）463-1127

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00　土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口
受 付 日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市東区和田町200
ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053)462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間
お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み
技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

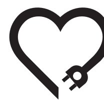
● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ･リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



こんな症状はありませんか？
- 電源コード･プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常･故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検･修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1



ヤマハ株式会社
© 2008 Yamaha Corporation All rights reserved.

Printed in Malaysia WQ01720